

キャリアのためのマテリアル工学論 学籍番号 8223036 氏名栗山淳

講義担当者名：新井先生

概要

大学や研究所の研究者になるためには大学から大学院へと進学し、博士課程を修了するパターンと大学院の修士課程を修了して企業に就職した後に退職し、再び大学院に入学して博士課程を修了するパターン、大学院の修士課程を修了して企業へと就職した後に企業に在籍しながら、再び大学院に入学して博士課程を修了するパターン、大学の学部を卒業し、大学、研究所等で2年以上研究に従事した後、再び大学院に入学し、博士課程を修了するパターン、大学を学部で卒業した後に大学院に入学し、博士課程を修了するパターンがあります。博士号を取るのは自分であれこれ考えて生み出そうとする人でないと苦労する。ハックし号を取得すると研究者として働くことができる権利が得られ、若手研究者としてポストドクトラル研究員や大学教員、企業の研究員といった職業に就くことができる。大学の研究者の主な仕事は学生を指導すること、論文を書くこと、学会活動、研究資金を調達することなどがある。研究者になりたいと強く願っている人は研究者という仕事がお勧めできる。

感想

今回の講義では、大学での博士課程の進路やその後のキャリアについて学びました。異なる進学パターンを紹介し、博士号取得の重要性やその後のキャリア選択肢に触れていただきました。博士号を取得するには自己の考えや創造力が求められ、容易な道ではないため、研究者志望者は苦労を覚悟しなければなりません。また、博士号取得後の職業についても具体的な例を挙げながら説明していただきました。この講義は、研究者を目指す人にとって非常に興味深く有益な情報を提供しています。研究者の道は研究者志望者にとって適していることを強調しており、博士号取得はそのための重要なステップです。ただし、研究者の道は困難であり、自己の考えや創造力が重要であることを念頭に置く必要があります。私は研究者になることを強く望んでいるわけではありませんが、将来の選択肢の一つとして博士号取得を頭に入れておきたいと思いました。したがって、実際に博士号を取得する確率は低いかもしれませんが、その可能性を考慮に入れておく価値はあると思いました。